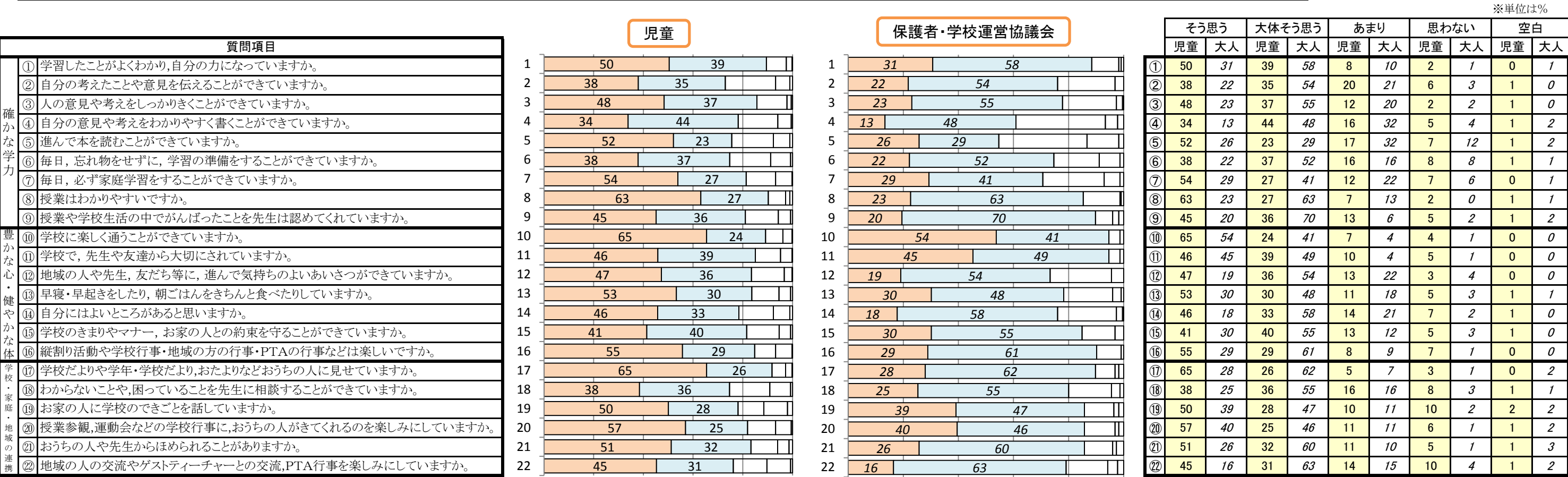


平成29年度学校評価(後期)結果について

平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。後期の学校評価にたくさんの方からご回答をいただき、ありがとうございます。アンケートの結果とともに分析結果についてご報告します。  
自由記述欄に書いていただいたことについては、真摯に受け止めさせていただきます。ありがとうございました。一部ですが、全体にかかわることについて、載せさせていただきます。

学校教育目標	「夢をもち、自らの未来を切り拓く子どもの育成」			～ひとりひとりが力を合わせ	明るくたくましく伸びていく新林の子ども～
後期の重点目標	◎自分の意見や考えを進んで伝える。			◎自分の良いところを知り、自信をもって行動する。	◎家庭学習と学習の準備をしっかりとする。



※四捨五入のため、合計が100%にならない項目があります。

「確かな学力」 (アンケート番号①～⑨)

「豊かな心・健やかな体」 (アンケート番号⑩～⑯)

「学校・家庭・地域との連携」 (アンケート番号⑰～㉒)

今回のアンケート結果や、ジョイントプログラムの結果から、学力をつけるためにも、以下のことに重点を置いて取り組んでいきたいと思います。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

☆ジョイントプログラムの結果から、国語科の文章を書く問題については、全市平均近くとっており、力が伸びてきていることがわかります。しかし、物語文や説明文の読み取りについては下回る結果となり、本校の課題となっています。算数科においては、図形問題での誤答が多く、問題文をよく読んで図形と照らし合わせて考える力を身につけることが大切になってきます。

② 表現力の向上

☆児童の評価で、アンケート②の「考えや意見を伝えることができているか」の項目は、少し上がってきました。授業中にも話す機会を作るようにしてきた成果だと思います。ただ、アンケート③の「しっかりと聞くことができるか」の項目は、少し下がっています。引き続き、話す・聞く活動を授業の中に取り入れていきます。

③ 家庭学習の習慣化

☆アンケート⑤の読書については、児童は前期と変わりありませんでしたが、保護者の結果が下がっていて、家庭での読書習慣が身に付きにくい現状がわかりました。アンケート⑦の「家庭学習をしているか」の項目で、19%の児童が「家庭学習の習慣が身に付いていない」と答えており、前期より高くなっています。また、アンケート⑥の忘れ物については、落ち込みが見られるものの前期より少し高くなってきました。

今回のアンケート結果や、1月の実施したさわやか週間の結果から、以下のことに重点を置いて取り組んでいきたいと思います。

① 豊かな心の育成

☆アンケート⑩の「学校に楽しく通うことができていますか」の項目は、前期に比べて楽しいと思っている児童の割合が高くなりました。しかし、11%の児童が楽しくないと答えています。原因を探り、楽しい学校生活が送れるように努めていきます。

② 基本的生活習慣の確立

☆アンケート⑬の項目を見ると、16%の児童が規則正しい生活をしていないと答えており、前期よりも増えています。高学年の35%が11時以降に寝ており、これは、夏休み明けより6ポイントも高くなっています。起きる時刻は、改善されてきていますので、睡眠時間が短くなってきていることがわかります。睡眠をしっかりとって朝食を食べてから登校できるように声かけをしていきます。

③ 学校の取組で、豊かな心を育てているか

☆アンケート⑫の挨拶については、児童の意識は前期と同じでしたが、大人は5%高くなり、一年間の取組の成果が見えてきてうれしく思います。児童会の取組や保護者、地域の方の働きかけのおかげです。ありがとうございました。アンケート⑭で、児童に自分には良いところがあると思うか尋ねたところ、前期よりも2ポイント肯定的な回答が増えました。しかし否定的な回答も増えており、なかなか自尊感情を高める取組の成果が表れていません。保護者アンケートも低いことから、道徳を中心に学校教育活動全般を通じて育んでいきます。

[自由記述欄より]・朝の登校、集合出発の時間の遅れが改善されません。遅れるのが当たり前になっています。信号が重ならないように時間帯がずらしてあるにも関わらず、信号周辺で大渋滞となります。大きな事故が起こらないよう、集合・出発時間を守るべきです。

☆全学年の安全のため、集団登校を実施しています。学級・町別でも引き続き指導してまいります。ご家庭でも、ご協力をよろしくお願いいたします。

日頃から、様々な取り組みに対し、地域やPTAの方々にご協力いただき、ありがとうございます。

① 開かれた学校づくり

☆前期の保護者アンケートの結果と比べると、アンケート⑱の「気軽に質問や相談しやすい雰囲気」等で「あまりそうは思わない」と回答されている方が4ポイントも増えていました。この結果を真摯に受け止めて相談していただきやすい状況を作ってきたいと思います。どうぞどの教職員でも結構ですのでご相談ください。

② 子どもの良いところを見つけ、ほめること

☆アンケート⑱で、児童の24%が「あまりそうだんできない」と回答しており、児童とのコミュニケーションを図り、改善に取り組んできたのですが、厳しい結果となりました。より児童との信頼関係の構築に努め、ほめること・認めることを心掛けていきます。

[自由記述欄より]・職員室に用事があり入室して声をかけても中にいた先生の対応が悪かったです。  
☆学校来られる方には、全教職員が対応することが、地域や保護者の皆様とのつながりの中で大事かと思います。電話の時は話に集中すると気づかないこともあるかと思いますが、基本は挨拶・声掛けですので、心していきます。